

# 健保など4割再点検へ

## マイナ保険証 確認手順が不十分

マイナンバーカードの健康保険証「マイナ保険証」で別人の情報がひもづけられた問題で、厚生労働省は4日、健康保険組合など全団体を調べた結果、8・6%（293団体）でひもづけ時の本人確認が不十分だったと発表した。ルール通りにひもづけしていたか不明の団体も29・6%（10

10団体）あり、全体の4割の団体で今後点検が必要になるといふ。  
▼3面Ⅱ「暗証番号なし」可能に、4面Ⅱ廃止撤回要求へ  
加藤勝信厚労相が会見で明らかにした。

生年月日などだけでひもづけし、住所を確認していなかったことが原因とされる。同省は全3411団体に適切な手順でひもづけをしていたか報告を求めている。  
本人確認が不十分だったり、適切な手順だったか確認できなかったりした団体には点検を求め、7月末までに結果を報告

させる。

同省は4日、本人の同意なしにマイナ保険証が利用登録された事例が新たに6件見つかり、登録を解除したと発表した。  
一方、健康保険証の廃止後にマイナンバーカードを持たない人に発行される「資格確認書」について、公明党の山口那津男代表は4日の会見で、「積極的にお届けする」とも検討していただきたい」と述べた。申請を待たずに発行する「プッシュ型」も検討すべきだと政府に求めた。

（村井準人、野平悠二）